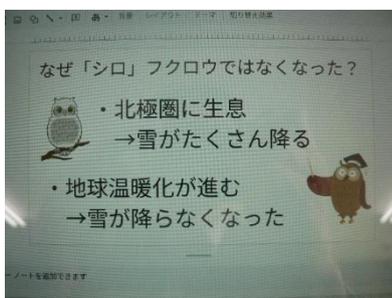
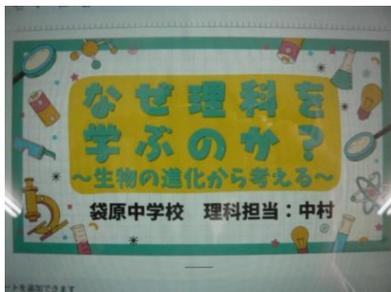


教科の面白さを発信！！

全校生徒を対象にオンラインで、毎週金曜の朝自習の時間、各教科担当がその教科の面白さを伝える試みを行っています。

N教諭（理科）

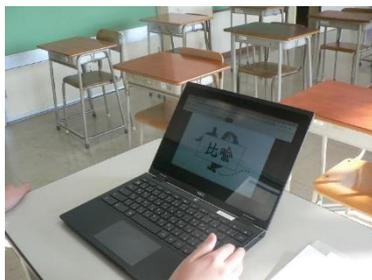
理科を学ぶことで、過去や未来を予測する力が付くと話していました。生物が長い年月をかけて進化してきた理由は、環境等の変化に対応するためであり、アフリカ象の牙や、フクロウの色を例に説明しました。また、未来に現れる生物の話もあり、興味深いものでした。



温暖化の影響で、雪が降らなくなったことから、シロフクロウの毛の色が白でなくなった。

O教諭（国語）

読書とは、「究極の自分探しの旅」であると話していました。作家が人の感情などを、比喩を用いて表現しようとするのは、そのときそのときの瞬間を、何とか言葉で紡ぐためと説明していました。そして、人に相談することも良い選択であるが、読書を通して自分の考えや気持ちを整理するのも一つの方法であると話しました。



O教諭（社会）

世界遺産に登録されている、広島県の厳島神社の大改修が70年ぶりに行われたことから、建造物に込められた当時の方々の思いを想像することのすばらしさを話しました。また、現在、世界の人口は約80億で、今後も増える予想がある中で、食べ物がなく餓死する人がいることに触れ、日本の食料事情を見つめ直すことが大切だと伝えていました。そして、社会科の見方・考え方を活用して、学校生活や人間関係などを自分たちの力で解決したり、改善したりしていく力を、育んでほしいと話していました。

